

現時点では仙北市の一時借入れはない。

質問 旧角館町は都市計画事業を進める目的税として計画区域内を対象に都市計画税を賦課して来た。税の不公平は正の観点から同税を廃止すべきであると思うが。

市長 都市計画税については都市において事業見直しを含めた検討を行なう事となっている。将来的には廃止の方向で検討を進めてまいりたい。

質問 高齢者、障害者の福祉増進を図る入浴無料券の配布は旧角館町では廃止したが旧西木村クリオンでは半分に縮小して継続している。全市対象の入浴無料券発行を十八年度予算の中に計上できないか。

市長 入浴無料券配布に変わる健康増進の方法があると言う事で廃止・縮小された経緯もあるので、それも加見しながら市内統一した考え方でのおつかけを進めて行きたい。

質問 当地区において障害者施設の整備が立ち遅れている。市独自の通所施設、授産施設の整備を図るべきではないのか。又、介護保険対象

外の障害者にも介護タクシーが利用出来る市独自の助成制度の確立を図る必要があるが。

市長 施設等への交通の確保については、介護者、障害者のみならず子供の通園通学も含め市の大きな課題である。

市民バス等の定期運行および必要な時に利用できる交通手段を市の実情に合わせた形での方法を考えて行きたい。



健全経営が期待されるアロマ

男女参画社会を どう考える

小野 マサ 議員



質問 旧角館町において執行されて来ている「まちづくり交付金事業」が六月定例会で一部計画変更がされた。この事業執行内容について次の事を伺いたい。

当該事業は長い年月を掛けてようやく住民の了解と合致した計画で練り上げられて来た事業である。なぜ住民に明らかにせず計画変更したのか。

市長 六月定例会後に当該事業の地元説明会は四回開催し、この中で変更内容は理解を得たものと解釈している。

まだ説明が十分でない由の質問と思うのでこれからも理解を得られるよう説明をして行きたい。

質問 「まちづくり交付金事業」の変更は国への変更

届が必要ならず、届けたのか。

市長 国への計画変更届けは平成十八年十一月に予定されている。

計画変更の手順としてこの時期進むという事で問題はな

いと考えている。

質問 駅東地区には「大型店」が出店する計画もあり、益々交通量が増える事が予想される。こうした中でも現道幅の六メートル道路で良いのか。駅東南北線はこの先、地域の主要道路となっていくもの。安全性についての市長のお考えを尋ねる。

市長 部分的な改良、道路の安全性などには当然配慮しながら全体の整備を進めてまいりたい。

質問 国県が進めている男女共同参画社会造りの実現に向けて仙北市ではどのように取り組んで行く計画なのか。市としての男女共同参画計画書は作成されているのか。

市長 男女共同参画計画書は旧町村では作成されていない。

たが、仙北市の計画書はまだ出来ていない、合併後の統一した仙北市版計画書の作成して行きたい。

質問 仙北市において委員会、審議会等への女性の登用をいかに促進して行くか。又、市の一般管理職への女性登用率向上を図るべきだが市長のお考えは。

市長 市行政を見ても女性の活躍の姿が薄いのが実状。女性の管理職は三名しかいない。知識及び指導力の研修等により管理職資質を養成し登用を図って行きたい。各種委員会へ女性登用も今後の市のあり方として環境作りを努めてまいりたい。

質問 市で働くパート、非正規雇用者に賃金格差はないと思うがどうか。又、パート等雇用者に対してもボーナスを支給する等の待遇改善策が必要と思うが、市長のお考えは。

市長 市のパート職員は百四十八人。雇用保険、社会保険は加入条件を満たしている場合は加入して頂いている。有給休暇制度も取り入れている。男女の賃金格差はない。